



SPREAD for .NET Web Forms Edition

Webアプリに表計算機能を提供し、
Webページでのレイアウト表示もサポートしたWebフォーム用グリッドコントロール



秋月巖ソリューション事務所
http://www.akizuki.co.jp/
秋月巖 AKIZUKI, Iwao

問
合
先

グレーシティ株式会社

TEL : 022-777-8211

FAX : 022-777-8233

URL : http://www.grapecity.com/

MAIL : sales@grapecity.com

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:

Environment

ターゲットOS
Windows 2000/XP
対応開発環境
Internet Explorer 6.0以上 (推奨)
HTML4.0、HTML3.2に準拠したブラウザ
価格
128,000円

同じ会社から発売される 複数のグリッド製品

本製品はASP.NETのWebフォーム用のグリッドコントロールである。Webフォーム用のグリッドコントロールに関しては、以前に本欄で同じグレーシティ社のUltraWebGrid for .NETを評価したことがある。グレーシティ社は同様な製品として他にもWebフォーム用のコントロールTrue WebGrid for .NETを発売している。

グレーシティ社はこれらの製品を自社開発しているわけではなく、他社の製品をローカライズしてライセンス販売しているため、このような重厚なラインナップになるのだろう。とにかく、同じ会社から別製品としてリリースされる以上、何かしらの理由があるはずである。ユーザーだって、どれを使っていいか迷うはずである。私自身

True WebGridは触ったことがないのだが、わかる範囲でそれぞれの製品の位置付けを整理してみたい。

各製品は名称が似ていて混乱しやすいので、表1を見ながら以下の部分を読むとわかりやすいだろう。

価格の違い

まず、注目すべきなのは価格の違いである (表2)。

True WebGrid for .NETは58,000円で入手可能だが、これには運用ライセンスが含まれていないようである。開発しておいて運用しないということはありえないので、定価ベースでは最低118,000円かかることになる。運用サーバー1台の場合は、年末までならSPREAD for .NET Web Forms Editionの128,000円より安く済む。また、運用ラ

表1：グレーシティ社のグリッドコントロール各製品と環境

ActiveXコントロール	.NETのWindows フォーム用	.NETのWeb フォーム用
SPREAD		SPREAD for .NET Web Forms Edition
True DBGrid Pro (VB標準DBGridの上位互換)	True DBGrid for .NET	True WebGrid for .NET (Microsoft標準DataGridの上位互換)
	UltraWinGrid for .NET	UltraWebGrid for .NET

表2：各.NET対応製品の価格

SPREAD for .NET Web Forms Edition	128,000円 (ランタイムフリー)
True WebGrid for .NET	58,000円 (運用サーバー1台につき60,000円 ^[※1])
UltraWebGrid for .NET 2.0J	54,000円 (ランタイムフリー)

※2003年12月末までの期間限定価格

ライセンスは期間限定と書いてあるが、期限以降、高くなるのか安くなるのか、ホームページには記載されていない。もし開発に年末までかかったら、先にライセンスも購入しておかない限り、その後運用するのにいくらかかるかわからないのである。これは購入の前に確認する必要があるだろう。

UltraWebGridは現在キャンペーン中で、スイート製品であるUltraWebSuite 2.0Jが12月末まで78,000円で買える。UltraWebGridの他に、

「UltraWebChart for .NET (サーバーサイドグラフコンポーネント)」

「UltraWebBars for .NET (サーバーサイドツールバー/タブ/リストバー)」

「UltraWebNavigator for .NET (サーバーサイドメニュー&ツリービュー)」

が付属する。単純に計算すれば、すごいお得である。ただ、経験的には開発ツール製品に限らず何でも、安いからといって余計なものを買った場合、後であまり得をしていないことに気づくことが多い。年末によく売っている福袋なんてのもその例である。

結局、Webフォーム用の3種類あるグリッドコントロールのうちでは、UltraWebGrid for .NETが圧倒的に安い。価格差は機能の差からくるものなのだろうか。私が見る範囲では、どのコントロールも、かなり高機能なので、通常的使用方法では不満が出ることは、あまりないように思える。各製品の違いは、機能の差というよりも製品の特徴付けの違いだろう。

各製品の位置付け

では、販売会社であるグレースシティ社では、それぞれの製品をどのように位置付けているのだろうか。同社のホームページから各製品のキャッチコピーを見てみよう。

- ・最強のサーバーサイド表計算コンポーネント (SPREAD for .NET Web Forms Edition)
- ・本格派Webグリッドコンポーネント (True WebGrid for .NET)
- ・サーバーサイド階層グリッドコンポーネント (UltraWebGrid for .NET)

最強と本格派のどちらがより強力なのかはわからないが、UltraWebGrid for .NETが階層グリッドを売り物にしていることがわかる。実際、私が見た範囲でもUltraWebGrid for .NETの階層表示は強力である。とはいえ、以前のレビューで書いたようにUltraWebGrid for .NETはある程度大きいデータを扱うとパフォーマンスが劣化する傾向があり、そういう意味では扱うデータが必然的に大きくなる階層構造表示には向かないという側面もある。また、SPREAD for .NET Web Forms Editionも階層表示をサポートしている。グレースシティ社によれば、階層表示機能に関してはUltraWebGrid for .NETと同等だそうである。そして、TrueWebGrid for .NETはグレースシティ社のWebサイトで確認する限り、階層構造でデータを扱えないようである。しかし、元々、データベースアプリケーション

において階層構造表示はそれほど重要な要件ではない。

SPREADは表計算コンポーネント

それより、SPREAD for .NET Web Forms Editionをグリッドコンポーネントではなく、“表計算コンポーネント”と呼んでいることに注意してほしい。これこそが、SPREAD for .NET Web Forms Editionを特徴付けている最大のポイントである。ActiveXコントロールのSPRAEDはアプリケーションに表計算機能を提供するコントロールとして提供されたが、表計算ソフトということはすなわちグリッド形式でデータを扱うことができるという意味であり、その特徴を利用してグリッドコンポーネントとして使用されるようになったという経緯がある。

Windowsアプリケーションの場合と違い、WebアプリケーションはWebブラウザの中で動作するので、表計算機能を利用したい場面は多くないと思うが、オリジナルが表計算ソフトであることから提供される特徴的な機能も多い。

たとえば、ファイル (XML/Excel/CSV形式) の読み込みと書き出し機能である。SPREAD for .NET Web Forms Editionでは、これらの形式のファイルをディスクから読み込んで、編集し、セーブする機能を持つ。また、計算用の関数のサポートやセルに計算式を設定することもできる。あと、直接、表計算とは関係ないのだが、マルチシートをサポートしている。これは複数のグリッドをタブによって表示を切り替えるというもので、Excelなど代表的な表計算ソフトで一般的に利用されている機能である。これらの機能はデータベースクライアント用のコンポーネントとしては一般的でないし、またあま